



平成十九年度

生駒狂言鑑賞会

入場無料

【日時】 平成19年 **6月30日(土)**

午後2時開演(午後1時30分開場)

【会場】 生駒市中央公民館サンホール

【主催】 大阪樟蔭女子大学・生駒市教育委員会

【お問い合わせ先】 生駒市中央公民館(電話0743-75-0101)

(申し込み不要、直接会場にお越しください。) ★車での来館はご遠慮ください。

番 組

狂言解説『狂言の囃面について』

うそふきめん

大阪樟蔭女子大学客員教授 木村 要

狂 言 『蚊相撲』

大 名 茂山七五三

太郎冠者 茂山 宗彦

蚊 の 精 丸石やすし

後見 神澤 和明

ワークショップ

指 導 木村 正雄 補助 高野 明子

出 演 生駒市内小学生のみなさん

木村 正雄（門弟） 坂本 良太・柏元功太郎・柏元 京
柏元 和奈・城第 智久

狂 言 『瓜盗人』

盗 人 木村 正雄

畑 主 高野 明子

笛 河田 圭輔

後見 神澤 和明

狂言解説

蚊相撲

（かずもう）

琵琶湖東岸は葦原の多い水郷ゆえに、昔は蚊の発生が多かったようである。特にこの狂言のように、守山を『蚊どころ』等と京都の下町で言ったのは、京都から東海道に別れを告げて中仙道に入って、第一夜の宿泊が守山になる。ここで蚊に責められた話がだんだん大きくなって、『守山は蚊どころで、人間程の蚊がいる』と噂されたのであろう。

ところで、当時は大名たちが相撲取りを召抱えるのが流行していて、我も我もと召し抱え、相撲大会をしては自慢し合っていた。相撲は裸で争うから、蚊にとっては人間の血を吸う絶好の機会であろう。蚊が相撲取りに化ければ、好き放題に血が吸えるであろうとの考えから、この狂言が生まれたと思われる。

あるいは、大名の年貢米の取り立てが厳しく、農民たちの生活が困窮するほどであったところから、生き血を吸う蚊がいると、暗に批判したものか……。

蚊の扮装が面白い。

瓜盗人

（うりぬすびと）

瓜畑の手入れに出かけた畑主が、盗人に瓜を盗られた跡があるのを見つけて、案山子（かし）や垣を作って帰る。

その夜、一人の男が昨日、手土産代わりに、途中の山畑で盗んだ瓜を、我が家に出来た瓜だと言って持って行ったばかりに、もう少し呉れと言われて、再び取りに出かけ、一度は案山子に驚くものの、案山子だと判ると瓜畑を散々に荒らして帰る。

翌日、再び瓜畑に出かけた畑主が、その夜は自分が案山子になって畑番をする。

先方から、余りに美味しい瓜なので、お前の家に行っておくさん食べたいと言われ、又取りに遣ってきた盗人は、案山子を村祭りの人形に見立てて祭りの出し物の稽古をしている内に、畑主に見付けられて捕まってしまう。

二人の登場人物が台詞（せりふ）の掛け合いをするや否や、狂言が終わってしまうと言う珍しい形式のお芝居である。動きの多い一人狂言で、案山子が抜群に面白い。

出演者紹介



茂山 七五三

茂山 七五三 (シゲヤマ・シメ)

1947年生、本名眞吾、四世茂山千作の次男、父および祖父三世茂山千作に師事。1951年『業平餅』の童で初舞台。1965年『三番三』1969年『釣狐』1978年『花子』1990年『狸腹鼓』を抜く。1995年二世七五三を襲名。1993年京都府文化賞奨励賞受賞。2001年、狂言と新作落語のコラボレーション〈落言（らくげん）〉の会「お米とお豆腐」を結成し活動する。多くの海外公演に参加する他、番外曲『寝替』（1983）を復曲初演、新作狂言『狐と宇宙人』（1979）年などに出演。2000年パリの俳優術研究所（ARTA）に招聘され、ワークショップを行う。チェコ共和国において「七五三（なごみ）の会」発足



茂山 宗彦

茂山 宗彦 (シゲヤマ・モトヒコ)

1975年生、二世茂山七五三の長男。父および祖父四世茂山千作、曾祖父三世茂山千作に師事。1979年『以呂波』のシテで初舞台。1990年『千歳』1996年『三番三』、2000年『釣狐』を抜く。1994年茂、逸平と「花形狂言少年隊」を結成し2000年1月迄活動、同年6月より「心・技・体・教育的古典狂言推進準備研修練磨の会＝TOPPA」を千三郎、正邦、茂、逸平、童子と共に主宰、2005年解散。2006年休止状態の「花形狂言会」を再結成、活動を始める。その一方でNHKドラマやミュージカル等出演。



木村 正雄

木村 正雄 (キムラ・マサオ)

1929年生。本名要。木村政一の長男。父および三世茂山千作に師事。1932年『以呂波』のシテで初舞台、以後1969年『花子』、1972年『三番三』、1974年『釣狐』、1994年『枕物狂』を抜く。これまで同門会（1958－63）、七笑会（1964－69）、双の会（1972－81）、翔の会（1982－97）を主宰。1981年大阪文化祭賞奨励賞受賞。新作狂言『鬼の目にも涙』（1973）を筆頭に現在までに27作品を創作・初演する。著書に『新作絵入狂言記』『新作絵入狂言記（2）』カナメ企画社刊、『狂言のデザイン図典』共著、東方出版刊。

生駒市中央公民館講座（9月15・21・29日）開催予定。



丸石 やすし

丸石 やすし (マルイシ・ヤスシ)

1950年生、本名康。1974年より茂山千之丞に入門・師事。1974年『腹不立』のアドで初舞台。1990年『三番三』、1992年『釣狐』、1994年『花子』を抜く。1981年「NOHO（能法）劇団」に参加。1984年に網谷正美、松本薫と「三笑会」を発足、2006年に公演第111回をむかえた。2002年、2006年ハワイ大学に演劇レクチャー講師として招聘される。2006年「三笑会」の活動が認められ京都府文化賞功労賞受賞。



高野 明子

高野 明子 (タカノ・アキコ)

1991年京都大学入学と同時に同大学狂言研究会に入部。木村正雄に師事。『口真似』の主人で初舞台。既に40番以上演じている。『ギャラリー・タカノ』の店主。



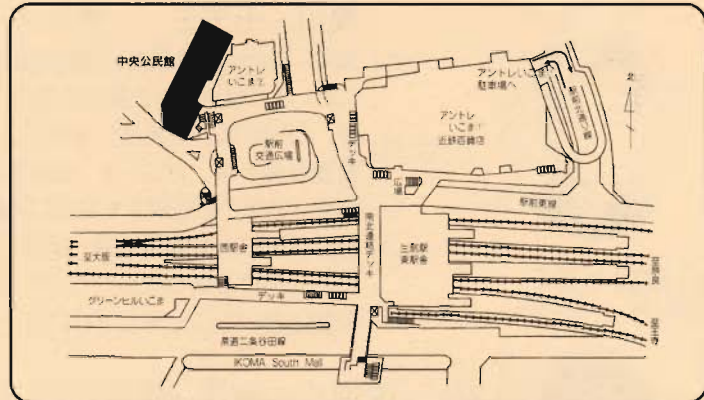
河田 圭輔

河田 圭輔 (カワタ・ケイスケ)

1999年京都大学入学、同時に同大学狂言研究会に入部。木村正雄に師事。1999年『舎弟』アド（兄）で初舞台、2000年『地蔵舞』出家で初シテ。2003年『朝比奈』アド（閻魔王）。2006『武悪』アド（太郎冠者）。

生駒狂言鑑賞会会場

生駒市中央公民館
TEL0743-75-0101
〒630-0245 生駒市北新町9-28



Shoin Gakuen
90th
ANNIVERSARY

学校法人 樟蔭学園

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 TEL 06-6723-8183

小阪キャンパス

- ☐ 大阪樟蔭女子大学 TEL 06-6723-8181 近鉄奈良線河内小阪駅下車
- 大学 人間科学研究科 (人間栄養学専攻)
- 学芸学部 国文学科 (国文学専攻・歴史文化専攻)・英米文学科・日本文化史学科
食物栄養学科 (管理栄養士専攻・食物栄養専攻)
被服学科 (アパレル専攻・化粧文化専攻)
インテリアデザイン学科
ライフプランニング学科

- ☐ 樟蔭高等学校 ☐ 樟蔭中学校 ☐ 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

関屋キャンパス 〒639-0298 奈良県香芝市関屋958 TEL 0745-71-3151

- ☐ 大阪樟蔭女子大学 近鉄大阪線関屋駅下車
- 大学 人間科学研究科 (臨床心理学専攻)
- 人間科学部 心理学科・児童学科・人間社会学科
- ☐ 大阪樟蔭女子大学短期大学部 人間関係科

お知らせ

平成19年度 東西狂言会

人間国宝をはじめ我が国の狂言界を代表する出演者を予定しています。

- 主催： 大阪樟蔭女子大学
- 日時： 平成19年11月14日(水) 午後6時開演
- 会場： 東大阪市立市民会館
- 入場： 無料 (申し込み不要・直接会場にお越しください、定員になり次第受付を終了いたします。)
- 番組： 解説 「和泉流と大蔵流と」 大阪樟蔭女子大学客員教授 木村 要
『船渡聲』 船頭・男 野村 万作・髯 高野 和憲・姑 深田 博治
『素袍落』 太郎冠者 茂山千之丞・主人 茂山千五郎・伯父 茂山 千作
『左近三郎』 左近三郎 茂山七五三・出家 木村 正雄

お問合せ： 大阪樟蔭女子大学 学術振興課 TEL 06-6723-8237